

第 5 学 年 体 育 科

教科目標

<p>各種の運動の課題をもち、活動を工夫して計画的に行うことによって、その運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、その特性に応じた技能を身に付け、体の調子を整え、体力を高めます。</p> <p>協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てます。</p> <p>けがの防止、心の健康及び病気の予防について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てます。</p>

学習計画

月	単元・題材名	時数	学 習 活 動
4	短距離走・リレー	5	・ 自己の走力やチームの記録を向上させるために考えあひながら練習や作戦を工夫する。 ・ スピードにのった心地よい疾走を楽しみながら、一人一人の走力を生かしたバトンパスをする。
	マット運動	5	・ 友達同士で動きを見せ合い、技のポイントを見つけあったり教えあったりする。 ・ とび前転や側方倒立回転、伸膝後転、倒立前転等の技に取り組み、それらを繰り返したり組み合わせたりする。
5	新体力テスト	3	・ 新体力テストを行う。
6	鉄棒運動	5	・ 友達同士で動きを見せ合い、技のポイントを見つけあったり教えあったりする。 ・ 上がり技、支持回転技、下り技の中から自分の能力に合った技に取り組み、それらの技が正確にできるとともに、上がり技、支持回転技、下り技を組み合わせる。
	水泳	11	・ 互いに協力して水泳をしたり、水泳プールのきまりや水泳の心得を守って安全に水泳をしたりする。 ・ 自己の能力に適した課題を持ち、クロール及び平泳ぎの技能を身に付け、続けて長く泳ぐ。
7	けがの防止	4	・ 身近な生活におけるけがの原因やその防止、簡単な手当てについて課題を設定し、解決の方法を考えたり、判断したりする。 ・ 身近な生活におけるけがの原因やその予防、手当てについて、課題解決を通して実践的に理解する。
9	表現運動	3	・ 自分のイメージを生かした表現に取り組んだり、練習や発表の仕方を工夫する。
	運動会練習	6	・ 個人競技、団体競技の練習をする。
10	跳び箱運動	6	・ 友達同士で動きを見せ合い、技のポイントを見つけあったり教えあったりする。 ・ かかえこみ跳び、台上前転、はね跳び等の技に取り組み、いろいろな高さや向きで跳び箱を安定した動作で跳び越したり、もう少しでできそうな技に挑戦する。
11	走り幅跳び・ハードル走	8	・ 自己の能力に合った課題を持って運動し、その技能を身に付け、競争したり記録を高めたりする。
12	バスケットボール	13	・ 自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたり、ルールを工夫したりする。
	ソフトボール		・ めあてに応じたボール扱いをし、チームの作戦に応じた動きをする。
1	体力を高める運動	6	・ 自己の体力に関心を持ち、動きの必要性和い方を知るとともに、自己に応じためあてを持つ。
2	サッカー	11	・ 自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたり、ルールを工夫したりする。 ・ めあてに応じたボール扱いをし、チームの作戦に応じた動きをする。
3	心の健康	4	・ 心の発達、心と体とのかかわり、不安や悩みへの対処の仕方について、実践的に理解する。
授 業 時 数 の 合 計			9 0 時 間

体育科の評価は

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
関心・意欲・態度	・ 進んで運動の楽しさや喜びを求めるとともに、協力、公正などの態度を身につけ、健康・安全に留意して運動をしているかどうか。また、心の健康やけがの防止について関心もち、自ら健康で安全な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとしているかどうかという観点から見ます。	・ 学習態度 ・ 発表会 ・ 記録会 ・ 学習カード
運動や健康・安全についての思考・判断	・ 運動の特性に応じた事故の課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫しているかどうか。また、心の健康やけがの防止について、課題の解決を目指して考え、判断しているかどうかという観点から見ます。	・ 運動会 ・ ゲーム ・ 発言
運動の技能	・ 自己の能力に応じた課題を理解して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けているかどうかという観点から見ます。	・ テスト など
健康・安全についての知識・理解	・ 心の健康およびけがの原因とその防止について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているかどうかという観点から見ます。	総合的に評価します。